



## 株式会社 プリンシプル

事業概要：シラス応用製品の研究開発製造・販売

主要製品：シラス製品「シラスブロック」、「緑化基盤」  
販売  
マグマバブルス（シラスバルーン）製造・販売

21

会社概要 2010年9月現在

設立 2007年（平成19年）3月

従業員数 3人

代表者 代表取締役社長 東 和朗

所在地 〒890-0063

鹿児島県鹿児島市

鴨池一丁目17-8

連絡先 TEL.099-258-3006

FAX.099-258-3106

purin@future.ocn.ne.jp

我が社の  
**PR!**

新開発した装置で、普通シラスを気流中で粒径選別し、  
軽量骨材とシラスバルーンを製造しております。



軽量骨材

## 製品紹介 普通シラスを シラスバルーンに！

普通シラスを気流中で乾燥と粒径選別を行う自動粒径選別装置を開発して、シラスバルーン製造装置と連結することにより、粒径の異なる整粒シラスの選別・回収を同時に行ない、そのうち、微砂を焼成発泡し、シラスバルーンを製造する事に成功しました。

今後、軽量骨材の原料として提供するとともに、軽量・高強度のシラスバルーンをさまざまな工業製品の軽量・断熱フィラーとして提供して行きたいと思っております。

## セールスポイント 多彩なニーズに 応える技術

製品の特徴は、軽量性・断熱性・不燃性・研磨性・保水性・吸音性・高融点・無色です。

2007年8月に、鹿児島県と「普通シラスの発泡実験と用途開発」に関する共同研究契約を締結しました。

2008年4月～9月に1件の商標登録と6件の特許を出願。（内2件は当社単独。3件は県と当社の共同出願。1件は県と当社を含め3社の共同出願）

2008年12月にマグマバブルス製造装置導入設置。

2009年2月に流動層炉試験運転開始。



マグマバブルス製造装置

社長からのメッセージ

シラスを活用した産業興し

地域経済の活性化や資源開発の観点から、750億トンともいわれるシラスを活用した産業興しを早急に図る必要があります。

自動粒径選別装置とバルーン装置の連結機械装置の開発によりシラスをシラスバルーンと整粒シラスに分級します。シラスバルーンは軽量材、研磨材、断熱材等々に、整粒シラスを用いたシラスコンクリートの実用化は、コンクリート構造物の長寿命化や海砂、川砂の代替材として、資源確保と環境保全に貢献します。

シラスを100%利活用する事で、シラス産業興しが現実と成ります。



代表取締役社長  
東 和朗さん

地域資源であるシラスを活かして「新たな未来へ対応した戦略的な産業おこし」への挑戦

ここが  
自慢!

県内に広く賦存する全てのシラスを対象に自然資源として、利活用する取り組みです。

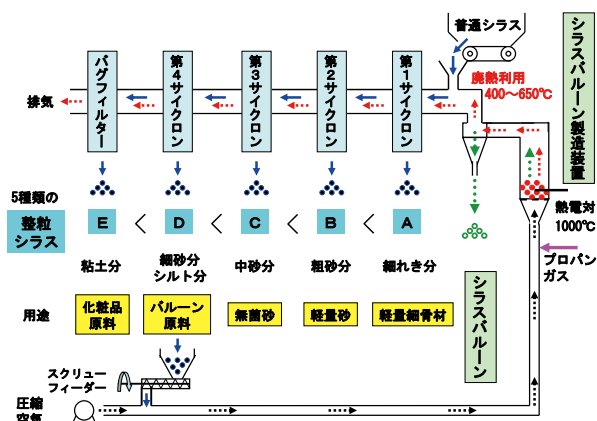


図1 普通シラスの総合利用技術



図2 媒体流動層に連結した多段気流分級装置

【ターゲット】 自動車関連  
【売上目標】 3年後 1億円

今後の  
目標

県の地域資源で  
新製品を開発

普通シラスは、整粒するだけで高品位化が図れます。

廃熱を利用した多段気流分級装置により普通シラスを整粒シラスに分別します。

シラス全体の約7割を占める細れき分、粗砂分、中砂分について細骨材等として供給しています。

それらを用いて、シラスコンクリート二次製品、PCシラスコンクリートを製造し、製品化を図っています。

細砂分とシルト分は、バルーン原料に用い塗料、プラスチック等の軽量フィラーとして供給しています。粘土分は、化粧品、石鹸、ガラスクリーナー用高級フィラーとして供給しています。

会社案内図



▶アクセス / 鹿児島市電騎射場・鴨池下車 徒歩3分